



滋賀県レイカディア大学 同窓会 湖東支部会報

平成30年8月1日

支部長就任の挨拶

『幅広い活動の場で、楽しむ同窓会活動を』

湖東支部長 児玉 正孝



二年任期の新体制がスタートしました。役員も大幅に代わり、運営委員は全員が新任です。幸い常任委員は、二十九名中、十七名に留任頂き体制に懸念はありません。課題は、数年前からの会員減少に歯止めが掛っていない事です。本部も同様です。

卒業後のボランティア活動が同窓会行事の中で見つけれず、①同級や同一学科生中心の活動に参加する。②趣味であれば、地域のクラブやサークル活動に参加する。③知った仲間で行事するのは楽しく参加しやすい。こうした指摘は早くからあり、否定はできません。

しかし、同窓会活動では、もっと幅広い仲間づくりの場が可能だと考えています。「一人ひとりが参加し易く、参加して楽しかった。次も参加したい」と評価される行事内容を目指す事ができるからです。

昨年から参加しています「彦根ばやし総おどり大会」や今年から計画の「美しい湖国美化活動」びわ湖岸清掃活動」もその一つです。従来の「趣味の作品展」「グラウンドゴルフ大会」「研修バス旅行」は定着化しており、年齢や趣味の域を超えた行事として、一定の賛同を得ています。

魅力ある同窓会づくりのため、四つの部会では委員の皆さんが「より楽しんでいただける行事内容」を検討されています。

会員皆さまがこれらの行事へ積極的に参加いただくことにより同窓会活動がより活発となりますようにご支援とご協力をお願いいたします。最後に、会員皆さまのご健勝と益々のご活躍をお祈りし、就任の挨拶といたします。

平成三十年度 湖東支部 定期総会開催

去る四月十七日(火)三十年度の定期総会が彦根市中老人福祉センターで開催されました。

前年度の事業報告、決算報告、新年度事業計画、収支予算、役員改選について議案が提案され、全て原案どおり可決されました。総会終了後彦根市立病院の循環器科部長の宮澤 豪氏から「動脈硬化は全身の病気って知っていますか」の演題で記念講演を賜りました。

午後からは親睦グラウンドゴルフ大会が開催され、46名の会員が参加されました。

新役員の紹介

- 支部長 児玉正孝
- 副支部長 近藤見示(彦根分会長、総務部会長)
- 副支部長 藤居忠治(愛知分会長、研修部会長)
- 副支部長 西澤則彦(犬上分会長、広報部会長)
- 理事 北村恭弘(会計担当)
- 理事 天満郁夫(彦根副分会長、地域活動部会長)
- 理事 戸嶋滋一(愛知副分会長)
- 理事 上野芳樹(犬上副分会長)
- 理事 鳥越正夫(H.P担当者)
- 監事 守野吉一
- 監事 小中長昭



定期総会



講演風景

新会員の広場

2年間の学生生活を通じて

北近江文化学科三十八期生

西川裕



レイカディア大学の2年間は本当に早く過ぎてしまいました。大学では北近江文化学科に入学しましたが、新しい仲間の皆さんと学習だけでなくいろいろな活動を楽しく賑やかに行うことができました。

選択講座の学習では、「中山道の宿場町をゆく」から始まり、城郭、近江の文学、農書と民俗、水源の森、紙芝居そして最後に課題学習と今まで知らなかったことを立て続けに学ぶことができ、本当に有意義な日々でした。最後の課題学習では「北近江から峠を越えて若狭路へ」というテーマで湖北地方から日本海へつなぐ数本の街道を同じチームの仲間とともに訪れましたが、現地調査とともに早春から皐月の時期であったこともあり街道沿いに咲く花々や新緑の木々の美

しさを味わうことができました。また、平安時代の昔から琵琶湖と日本海をつなぐ運河を実現しようとした壮大な歴史のロマンを感じたのを思い出します。

昨秋卒業後は同じクラスの仲間とともに「みつわ会」(人の輪、学びの輪、奉仕の輪)を結成し、37期の先輩の方々とともに施設への訪問演奏や和歌山城、姫路城など近隣の城下町への訪問など、皆と引き続き仲良く楽しんでいます。

また「城郭探訪会」や「ゴルフ愛好会」の同好会も、卒業後も続けて活動させてもらっており、草津校の方々とも親しく交わることができたのもレイカディア大学を通じてだと思えます。

2年間の学びを振り返り

園芸学科三十八期生

新谷弘之

レイカディア大学入学のきっかけは、知人の紹介で、40数年振りの故郷で第二の人生をスタートす

るに当たり、今まで企業人から新たに社会人として何をやるか模索中の私にとって良い機会でした。



在学2年間の学びを振り返ると新たな発見・出会いと新鮮で貴重な気づき体験でした。地域活動体験学習では、自らの故郷の新たな一端を知る。さらに、義務的でなく自発的な奉仕作業の爽やかさも味わえたことです。また、課題学習では、向上心旺盛な多くの仲間、中には多芸多才なマルチ人間やシニア層特有の匠の技、多士済々の頼もしいシルバー軍団に驚き、特に女性陣のパワーには驚愕するばかりでした。

一方、各種講演「私のチャレンジ人生」「地域資源を生かしたまちづくり」等においても、何かを成し遂げるには「地まぬ努力・情熱」さらに「試練こそ成功の鍵」としてとらえることができ、体験話には大いに感銘したものです。

卒業してからは、ボケ抑制として土いじり(野菜・果樹作り)、庭の

剪定等々、レイ大での学びを生かしつつ、また、人・社会との関わりを大事にしていきたいと思っています。

友と今を大切に

園芸学科三十八期生

西村陽子



卒業して早や九ヶ月が過ぎ、今になりいろいろと考えさせられます。高齢になると友達の交流が少なくなりますが、私はレイカディア大学に行った御陰で数多くの人達から学び、友達として交流をさせて戴き幸せです。

園芸の趣味も巾広くなり、ボランティアや地区活動は今も続けています。皆さんと行動を共に出来ることは本当に楽しいです。

体の健康は、水泳とダイビングの仲間と頑張っています。心の健康はレイカディア大学の仲間借助けられて園芸関係のボランティアもやり、萎れそうになる私を皆さんが引っ張ってください。これからも今までに習ったことを活かして、いろいろな事にチャレンジ出来ればと思っています。

卒業後の活動

園芸学科三十八期生

中村英和

中村恵子



卒業後も課題活動の続きで、クラス仲間や先輩、後輩達の協力を得て、彦根の四番町スクエアを魅力的にするお手伝いをしています。

毎月第三木曜日九時から十二時、八月だけ休みと決めて、来られる人だけで、草刈りや花の苗植え、柳や松、桜等の枝の剪定等、暑い日も寒い日も、雨の日も曇りの日も頑張ってきました。

年中、日に日にお花が増え、お客様から綺麗と言んでもらえることで、地元の方達も徐々に町おこしを意識してくださるようになりまし。後は地元中心でやってもらえる様になることです。

社協にも行って、一般の方達も一緒にボランティアに参加してもらえるようお願いしています。

退職後も参加して下さる方が増え、土台作りができつつあるかなと感じています。

ここは「ゆるキャラ祭り」の出発点で出店がキャッスルロードと共に並び出て、祭りの中心になっていきます。今年七月からは、毎日午後一時に「ひこにゃん」が来てくれる事になり、日ごとに楽しい街に変化しています。

四番町がどこにあるのかも知らない人が多い現実、誰もが知る四番町に繋がれば私達の苦勞も報われるのかなと思います。あまりにも広いのでこれから益々、ボランティアの輪が拡がり、もっと沢山の方が参加して盛り上げてくださればと思います。

他にクラス仲間や先輩達が続けている課題活動の続きをお手伝いしたり、サポート隊の活動やクラス仲間と一緒に渋柿のオーナーとなり、その剪定をするなど、忙しい毎日を送っています。



彦根市キャラクター
ひこにゃん

城郭探訪会に参加

北近江文化学科三十八期生

辰野 登



レイカディア大学でのご縁で城郭探訪会に参加させて戴き、各地の城、城跡を見学しております。場所ごとに、その歴史の

深さとその重みを感じております。その時代の立派な建造物を見ながら、人間の凄さや知恵に感動しております。一つ一つに込められた価値を再認識しながら、人間の偉大さを見直しております。

また、この会に入会して、各方面の幅広い学生さん達と触れ合う機会を持って、自分の知らない分野での知識も得て、人と人との交流の輪が広がり、大きな収穫となり、これからも大切にしたいと思っております。この大学は老後の人生を豊かにしてくれると自負しています。

我々三十八期生、北近江文化学科の「みつわ会」(人の輪・学びの輪・奉仕の輪)は、幼稚園の老人ホームへ出張して、大学で学んだ知識を活

かす機会とじています。正しく三つの輪を一つにして頑張っております。皆さんに喜んでいただきたびに、成果を仲間と分かち合っております。サポート隊にも参加して、次期学生募集で、福祉協議会、市役所、新聞社を訪問し、募集広告の依頼等に回って来ました。これからも健康が許す限り、努力したいと思っています。(順不同)

今後の主な行事予定

- ★彦根ばやし総おどり大会
八月十日(金)
場所：彦根市銀座・他商店街
- ★新入会員歓迎会
九月二十五日(火)
場所：一休庵
- ★湖東支部グラウンドゴルフ大会
十月三日(水)
場所：荒神山G・G
- ★四支部グラウンドゴルフ大会
十月十五日(月)
場所：荒神山G・G
- ★第11回 地域活動事例発表会
十一月六日(火)
場所：近江八幡市ひまわり館
- ★研修旅行
十一月十四日(水)
行先：関西電力大飯発電所

同窓会活動の広場

愛知川河畔林の愛林活動に参加

六月十五日(金)に米原校サポーター交流行事部会主催の愛知川河畔敷葉枝見橋たもとで枯竹と間引き竹の伐採と搬出作業が行なわれ、当日は小雨ふるあいにくの天候のなか、同窓会湖東支部から多数の方が愛林活動に参加されました。



活動風景と湖東支部同窓会参加者



趣味の作品展を開催

去る七月六日(金)から八日(日)の三日間、彦根市民会館ギャラリーにて恒例の「作品展」を開催しました。今年度は31人の方から盆栽、手工芸品、水墨画、書、写真など50点が出品されました。出展者と作品名などについては次号で掲載を予定しています。



作品展風景



お便り

暑中お見舞い申し上げます

丁度この時期、平成二十八、二十九年度の支部広報部会長の大役をいただき、どんな取り組みをすべきか、暗中模索の日々でしたが、一人ではできない、皆様のお力を借りてこそこの思いで、スタッフに加わっていただいた委員の方々とアイスコーヒーで涼をとりながら、編集会議を重ねたことが思い出されます。

特に、紙面にご登場いただいた方々とはご縁の始まりとなり、どこでも声をかけていただいております。ありがたいことです。

『訪問インタビュー』を三回させていただきますこと、光栄でした。

人生の大先輩の一言一言は、重みがあり、良き叱咤激励をいただきました。会員の皆様も共感していただけたことと思います。

貴重な体験に感謝しながら、会員皆様と共に、健康に過ごしたいと思う日々でございます。

(三十五期・園芸・澤 好成)

編集後記

昨年度から湖東支部会報の印刷方法がオフセット印刷からオンデマンド印刷に変更になりました。

この方法は印刷をする前には完全に紙面を完成させるものです。慣れない作業でしたが広報部会のメンバーの協力を得て、やっと本年度第一号を発行することが出来ました。

これからも同窓会員交流の場として会報の充実に努めてまいります。

広報部会メンバーの紹介

- 須田誠一 (25 園芸)
- 中 文子 (32 生活)
- 澤 好成 (35 園芸)
- 鳥越正夫 (36 園芸)
- 村西俊雄 (37 園芸)
- 石山昌憲 (37 北近江)
- 西澤則彦 (37 健康)

滋賀県レイカティア大学同窓会
湖東支部会報

平成三十年八月一日
平成三十年度第一号
発行責任者 児玉正孝
編集責任者 西澤則彦

弔事

古川浩二様 (享年七十七歳)
園芸学科二十七期
大上郡多賀町富之尾一六四七
ご冥福をお祈り申し上げます